

10月1日、アレクサンダー・ドゥ＝クロー・ベルギー連邦政府首相がベルギー連邦議会下院議会本会議にて演説を行ったところ、ポイントは以下のとおりです。

【ポイント】

●同演説は、①コロナ対策、②経済対策、③国内諸政策、④治安、⑤EU・国際という5本柱。組閣にあたり、7政党間の「政府合意」のポイントを紹介。

●これまでの政治の混乱からの「再生」や「信頼構築」を主張し、市民参加型の政治とすることを強調。

●具体的政策は以下のとおり。特に、環境とデジタル政策に強い力点が置かれていることが見て取れる。

(1) コロナ対策：多くの医療や経済分野等への「投資」、フェイクニュース拡散対策。

(2) 社会福祉政策：年金政策（漸進的に1500ユーロ／月への引き上げ等）、女性関連政策（産休休20日間等）。

(3) 経済対策：雇用創出（2030年までに雇用率80%）、税制改革（課税申告手続の簡略化）、企業支援、労使関係調整促進等。

(4) 環境政策：ベルギー史上で最も環境に配慮した政策として、47億ユーロの投資パッケージ、EUグリーンディールへの完全なコミット、脱原発のカレンダー尊重、風力・太陽光発電の配備等。

(5) デジタル政策：「デジタル・ベルギー」と銘打ち、司法、保健、税制等、各方面のデジタル化推進。

(6) 政治改革：欧州議会選挙の選挙権の法定年齢の16歳への引き下げ。

(7) 国家制度改革：連邦構成体の自治強化、連邦政府の効率化に向けた改革を2024年に実現する。

(8) 治安維持：街中の警官数の年1600人増加、軽犯罪手続迅速化。

(9) 難民移民：責任・負担の公平な分配をEUに要請。

(10) 地球規模課題：SDGs、アジェンダ2030。

(11) 外交政策：親欧州路線、NATO支持。